



上稲毛国柔道教室
30年の活動に幕

2月29日(日)、上稲毛田自治公民館で上給柔道教室の閉講式が行われました。今年で、満30周年を迎えたこの教室も、児童数の減少により永い歴史にピリオドを打つことになりました。この日は、芳賀町教育委員会から長きに亘る功労が認められ、感謝状が贈られました。その後、教室生(小学6年生)による形の披露が行われ、出席された関係者の皆さんからたくさん拍手が起りました。

オーベルジュシェフ直伝の味は…

親子料理教室が2月21・28日に宇都宮のオーベルジュの音羽シェフを講師に迎えて行われました。音羽シェフは子どもの食育に熱心に取り組んでおり、県内でも関連の事業に数多く関わっています。子どもたちはお父さん・お母さんとふれあいながら、楽しく調理をしていました。1回目の料理では子どもたち



竹藪から現れたものは…
毎年、塩田善朗さん(11)と能(1)宅にはスズメバチがやってきて巣を作ります。昨年は5号目。その巣はちよつと変わったところにありました。塩田さんが庭にやってくるハチの後を追っていくと、なんとそこは竹藪の中。目の前にぶらぶらとぶら下がったスズメバチの巣が現れたからびっくり!「軒先にやってくるハチを追いかけているうちに裏の竹藪にたどりついたのでしょうか」と、塩田さん。今までみたことのない、



大きなひょうたん型の巣。いったい何匹のハチが孵ったのでしょうか。

第26回 栃木県首都圏 農業経営コンクール大会 関口夫妻が優秀賞受賞



関口章夫・和枝夫妻(芳志戸)が、耕種部門で栃木県知事賞、下野新聞社社長賞、農林水産省経営局長賞の優秀賞を受賞しました。関口さんは、高校を卒業後就農し、水稻をはじめ麦・大豆・イチゴなどを栽培するなど経営の安定化を図ってきました。地域においては、東部営農クラブを結成し大型機械の共同利用により作業の受託を拡大。土地利用型農業の中心的役割を担っています。関口さんの経営方針は、おいしく安全、安心な農作物の生産を主眼においており、水稻は有機物肥料を使い、減農薬・減化学肥料栽培に積極的に取り組んでいます。家族内でも労働条件を設ける家族経営協定も結んでいて、責任とやりがいをもって経営にあたるなど魅力ある農業を目指しています。これらの取り組みが今後の水田地帯における経営の模範として、波及効果・普及性は高いと認められ、今回の受賞となりました。



毎年これが、楽しみなんです

3月4日、上延生ヘルスセンターで、一人暮らし、二人暮らしの高齢者世帯を招待し、観劇会を開催しました。毎年人気のこの事業。なかなか外出する機会が少ない高齢者にとっては、バスでのひとときも旅行気分を盛り上げます。テーブルには自慢のお手製お総菜が並び、徐々に会う友人との会話に花を咲かせていました。

この大会は、ソフトテニスの技術の高揚とマネージャーアップと同時にリサイクルの意識づくりを目的に大会を創設。

県内外中学校の強豪チーム男女各32ペアを招待し、2月22日、町与能テニスコートで盛大に開催されました。応援その他を含めると30人以上が参加。地元新聞社やテレビ局の取材を受けました。

当日は晴天に恵まれ大会はスムーズに進行。各コー

トで熱戦が繰り広げられました。実行委員長である堀井孝行氏は「技術面・マネージャー共にハイレベルな試合となり主催者として大変満足しております」と。

資源ゴミ回収には、芳賀中生も自主的に参加。大会運営費用を捻出するなど、スポーツ団体として先駆的な取り組みに、今後の広がりが期待されます。



第1回ソフトテニス研修大会 芳賀ひばりカップを開催



タウンレポート

Town Report
我ら広報部が地域のおもしろい話、変わった出来事などレポートしちゃいます!